



城野駅北 土地区画整理事業

ハード事例

福岡県 北九州市

種別

区画
整理

開発
事業

その他

事業規模

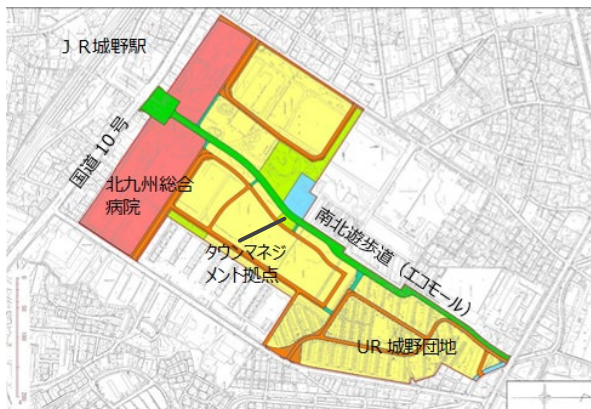
~5,000㎡

5,000㎡~5ha未満

5ha以上



土地利用計画図



凡	例
—	推定地区区境界(都市計画決定対象)
—	南北遊歩道(都市計画決定対象)
—	区画道路
—	歩行者専用道路
—	公園・緑地・広場
—	河川・水路
—	中高層住宅・生活利便施設用地
—	低層住宅用地

- **事業完了** 平成28(2016)年
- **施行者** 独立行政法人都市再生機構
- **面積・用途** 約18.9ha・住宅系
- **整備方式** 土地区画整理事業:電線共同溝方式
二次開発:要請者負担方式
- **無電柱化費用** 約285百万円/km
※土地区画整理事業内での
実施路線のみ
- **無電柱化路線** ○都市計画道路 ○区画道路の一部
:幅員8m, 12m :幅員4~15m
- **適用した補助制度**

託送供給等
約款

社会資本整備総合交付金

無電柱化まちづ
くり促進事業

その他

●事業概要・背景

- ・当該地区が北九州市の上位計画で環境未来都市北九州市リーディングプロジェクトとして位置づけられ、再生可能エネルギーの利用等の先進的な取り組みを実施することとなり、その一環として無電柱化も実施する方針となった。
- ・土地区画整理事業としては、北九州市の無電柱化に係る方針に基づき、まちの主要動線となる幹線道路および区画道路にて修景・防災の観点から無電柱化を実施。

●無電柱化実施上のポイント

- ① **同時期施工に関する調整**
 - ・掘削工事をなるべく1回で実施できるようにする等、施工調整会議において工法を調整した。
- ② **国費の活用**
 - ・国の社会資本整備総合交付金(都市再生区画整理事業)を活用し、広範囲での無電柱化を実現した。
- ③ **二次開発事業者との連携**
 - ・二次開発の各事業者に対して無電柱化を要請し、一部街区で開発事業者の負担により無電柱化を実施した。